

《Q》危険と思われる場所へ防犯カメラの増設を
《A》今後も必要と判断した場所に設置を進める

中嶋 勝 議員 (公明党)



通学路等の 安全対策の強化を
質問 PTAからの通学路危険箇所改善要望への対応は、**教育長** 点検結果を踏まえ、安全対策を講じていく。
質問 登下校時に多い事故や犯罪への課題は、**教育長** 見守りの人材確保へ、市民にご協力を呼びかけたい。
質問 劣化してきた動物公園前歩道橋の抜本対策を。
市長 改修か撤去か両面から検討する。
質問 速度制限規制がない宮地街道への規制標示を。
市長 引き続き警察と協議し調整していく。
質問 小中学校や学童クラブ、児童館等の周辺の安全対策として「ゾーン30」の指定を。
市長 警視庁でも推進していることから今後、福生警察と協議し検討していく。
動物公園駐車場の整備を
秋の開園40周年リニューアルオープンにむけて。



通学路の危険箇所へ設置された防犯カメラ

質問 障がい者用スペースの増設を。
市長 増設へ検討を進める。
質問 ベビーカーでも利用しやすい舗装通路の拡張を。
市長 必要に応じた対策を講じていく。
質問 駐車場内を禁煙区域及びポイ捨て禁止区域に。
市長 現行の条例に基づき引き続き対応していく。
質問 大きな凹み部の広範囲にわたる水溜まり対策は。
市長 抜本的な解決へ向け、今後検討を進める。
■その他の質問
障がい者雇用の推進について
※ゾーン30：区域を定めて自動車の最高速度を30kmに制限する交通安全対策

《Q》事前キャンプ誘致を機にレガシー創出を
《A》国際交流につながることも念頭に取り組む

小宮 國暉 議員 (新しい風)



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて
質問 事前キャンプ誘致事業に関連した、これまでの業務は。
市長 訪日外国人数の多い東アジアや東南アジアの国を中心としたPR活動。現地スポーツ誌へスポーツセンターのPR記事を掲載、訪日観光客向け羽村市ガイドマップを空港等へ設置するなど。
質問 中央アジアの国の柔道チームとの事前キャンプ実現に向けて、今後の取り組みは。
市長 当該柔道連盟会長から、今年の11月に大阪で行われる大会に向けて視察を兼ねた事前キャンプを実施したいと打診があり、現在実現に向けて交渉中。
質問 事前キャンプ誘致事業を機に、『ソフト面でのレガシー』として、国外姉妹都市交流に繋がるよう取り組んではどうか。
市長 選手と市民の交流な



5月にスポーツセンターで行われた柔道大会

ど、ソフト面でのレガシーとなる取組みは大変重要。将来的な国際交流につながることも念頭におきつつ、まずは、スポーツセンターの視察を兼ねた今年度の事前キャンプの受入対応をしっかり行い、東京2020大会での実施に繋がるよう取り組んでいく。
「羽村市史」編さん事業
質問 刊行後、どのようにその成果を還元するのか。
市長 市制30周年にあたる平成33年度の刊行を目指している。刊行後は、図書館などの公共施設で閲覧に供していく。

《Q》医療・介護の緊密な広域連携へ羽村市がリードを
《A》協議会での検討等を踏まえ積極的に取り組む

富永 訓正 議員 (公明党)



医療・介護の 広域連携について
各関係機関・団体から求められている在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の広域的な連携が課題である。
質問 西多摩地域広域行政圏協議会や、他の市区町村に緊密な広域連携を羽村市から発信、提案し協議や議論を粘り強くリードしては。
市長 「羽村市在宅医療・介護連携推進協議会」での検討から積極的に取り組む。
行財政改革で活力を
新たなイノベーションが求められる厳しい時代を迎え、よりの確かな市政運営を。
質問 より安定した財政基盤の構築と行財政の効率化をどう考え、その取組みは。
市長 事務事業の見直しの方向性や内容の審議を行い、次年度予算に反映していく。
質問 税制改正で中小企業の設備投資に対する固定資産税の減免措置が規定された。市の対応はどうか。
市長 固定資産税償却資産



子どもたちも参加した水防訓練

分を3年間、減額する特別措置が創設される。今次定例会に条例の改正案を提案。
児童生徒への救命教育と防災教育の充実を
学校での危機管理体制を拡充し、児童生徒自身の命を守る学校環境の構築を。
質問 命の大切さ、災害への理解をより深めるためにも『ジュニア防災士』制度を検討しては。
教育長 制度の有効性や課題等も含め今後研究する。

《Q》富士見霊園の「改葬」・「生前申し込み」を可能に
《A》需要と供給のバランスの中で検討していく

大塚 あかね 議員 (国民・立憲の会)



富士見霊園

多様な市民ニーズに合わせて富士見霊園の運営を望む
富士見霊園は市民のための霊園だが近年、募集数に対し応募数が満たない状況が続いている。市民ニーズに対応した墓地運営を行うべく必要があるのでは。
質問 現在、募集要件には、改葬や生前申し込みが認められていないが、改葬や生前申し込み枠を設けては。
市長 公営墓地が担う役割として、親族の遺骨が手元にあるが、墓地を持たず納骨できない方を優先して募集してきた経緯がある。改葬、生前申し込み枠の設定については墓地の需要と供給のバランスの中で検討し

ていく課題と捉えている。
質問 今後の運営方針について伺う。
市長 日々変化する市民ニーズを把握し、今後の整備計画や募集計画を検討する中で市民に身近な霊園運営に努めていく。
セクハラ、パワハラ対策強化と充実を図られているか
質問 改正セクハラ指針の周知と措置について伺う。
市長 市では昨年7月の管理職対象のハラスメント予防研修の中で改正指針について周知した。管理職を通じて全職員に意識付けを徹底し働きやすい職場環境づくりに努めていく。
質問 相談窓口の設置、防止対策の状況は。
市長 市では職員課が相談、防止対策を講じている。市内企業も人事担当部署が対応すると捉えている。
■その他の質問
「人生100歳時代」について
※改葬：埋葬してある遺骨を別のお墓に移すこと

《Q》2025年の推計人口41,111人 市民税への影響は
《A》平成30年度予算との差額の試算で9億1636万円

山崎 陽一 議員（世論）



区画整理撤回要求第45弾
質問 平成30、31年度の移転予定数、再築、曳家の数、中断移転期間は約13か月。
市長 30年度23棟で再築18棟、曳家5棟。中断期間は4〜13か月。31年度27棟で再築21棟、曳家6棟。中断期間は約13か月。
質問 移転交渉で地権者が公社職員の圧力を感じた。今後はないと言えるか。
市長 権利者の意向を伺い協議を重ねている。市や公社職員の移転強要はなく今後も丁寧に対応する。
質問 「まちなみ」に集団移転や中断移転、曳家、再築の判断基準、再築補償率などの説明がない。
市長 今後は知らせる。再築補償率の公表予定はない。
質問 都市計画道路3・4・12号線開通はいつか。
市長 平成43年度を目途に用地空けと平面部の道路築造を行う。立体交差部は事業化されておらず全線開通時期は示せない。

■羽村市の将来人口推計 単位：(人)

	市人口ビジョン	社人研*推計
2015年	57,421	55,833
2025年	56,571	51,699
2035年	55,429	46,484
2045年	54,044	41,111

※社人研：国立社会保険・人口問題研究所
2015年国勢調査から推計

質問 駅前からお寺坂までの都道の整備は何年度か。
市長 34年度から45年度を目途に用地空けの予定。
質問 国の*社人研人口推計で2045年が4万1111人になると市民税額は、29年度課税状況調べで試算すると、30年度との差額は9億1636万円。
質問 区画整理などの長期事業は、国の推計人口で計画すべきでは。
市長 まち・ひと・しごと創生計画に基づく取り組みを進め、人口増を目指していく。

《Q》西口駅前広場と3・4・12号線（羽村街道）に絞っては
《A》財源などを工夫して予定通り進める

水野 義裕 議員（羽村21）



川崎のドラッグストアの跡地

区画整理事業の今後は2
質問 これまでに移転していただいた世帯への訪問状況（訪問回数・時間数）は。
市長 換地先へ戻るまでの間、回数や時間に捉われないことなく対応することが重要であり、訪問回数、時間数などは把握していない。
質問 2度の引越しの負担などを理由に、換地先に戻らないと決断された世帯数は。
市長 協議の中でそのような話は聞いていない。
質問 飛び換地などで地域コミュニティの維持が難しいのではないか。
市長 従前の宅地の位置、形状等を勘案して定めた換

地先へ移転していただくことを基本としており、地区外への移転が生じるようなことはない。
質問 事業決定から15年、環境が大きく変わっている。西口駅前広場と都市計画道路3・4・12号線の整備に絞った計画に変更し、対象市民の負担や市の財政の負担を軽減すべきではないか。
市長 市は、人口減少・少子高齢化社会の到来など、変化する社会状況に対応した行政運営が求められている。これまでの都市基盤整備事業は、それぞれの時代の状況の中で、常に市民の皆様の安全安心のまちづくりを推進してきたもので、この行政運営の考え方は普遍である。今後も、土地区画整理事業を前提とし、財政負担の軽減を図りながら、合理的な事業の推進に努めていく。

■その他の質問
働き方改革に関連して



《Q》腎機能への重症化予防は考えているのか？
《A》腎不全、人工透析等予防の観点で受診勧奨を行う

西川 美佐保 議員（公明党）



健康・長寿先進都市と持続可能な医療制度をめざして
がん研究の世界的権威であるアメリカ国立がん研究所のデビッド所長の「抗がん剤を増殖させると数千人が、世界のがん治療が手術から食事療法を中心とした代替医療に大きく舵をきり、生存率を高めている。また、がんや人工透析に繋がる糖尿病腎症等への重症化予防は重要である。」
質問 がんの一人当たり医療費と本人負担はいくらか。
市長 平成27年度実績で平均33万9406円、自己負担約3万4千円から10万円程度。
質問 がんの代替医療について市は保険者としてどう認識しているのか。
市長 代替医療は、あくまで手術などの治療を補完するものと認識している。
質問 腎機能について重症化予防の考えは。
市長 がんの代替医療について市は保険者としてどう認識しているのか。
市長 代替医療は、あくまで手術などの治療を補完するものと認識している。

糖尿病は重症化すると腎不全、人工透析へと移行する可能性があり、重症化予防の観点から受診勧奨を行う考えである。
生ごみ減量の促進と特色ある野菜作りについて
質問 農商が連携し、葉効野菜や有機野菜の栽培、代替野菜（中性電解水）等の活用など研究し、付加価値をつけた特色ある野菜作りを支援しては。
市長 市は農商連携に主体的に取り組む農家、業者の効果的支援をする。
■その他の質問
ポイント制度と「地域通貨」と併せた事業について



代替治療などに関する書籍

《Q》市内の空き店舗の状況は
《A》市で把握している空き店舗数は88店舗

富松 崇 議員（新政会）



産業福祉センター内iサロン「情報発信ボード」

賑わいと活力あるまちづくりについて
企業誘致への取組みについて
質問 市内に転入した社員がいる企業に対して補助金等の優遇制度を作ることで定住人口の増加を図る施策にもつながると考える。企業誘致制度をさらに充実させ、近隣自治体との違いを出していくべきではないか。
市長 選択される自治体として、誘致制度の更なる充実を図っていくことが重要であると考えており、ご提案の優遇制度をはじめ、本社機能の移転や設備投資の推奨などの新たな支援策について、検討していきたい。
転出企業対策への取組みについて
質問 これまで転出した企業は、どのような理由によるものか。
市長 建物や設備の老朽化対策や生産性の向上を図るなどの理由により近県へ移転された事例がある。
市内商業への支援策について
質問 市内へ出店したい方に空き店舗を紹介する仕組みはあるか。
市長 産業福祉センター内のiサロンに掲示している「情報発信ボード」において、市内不動産会社等が空き店舗情報として掲示し、市内に出店したいとの問い合わせがあった場合に、情報提供などの取組みを実施している。

《Q》羽村・昭島両市長が出席する市民説明会をすべき
《A》広報等で経緯を周知し、その後の対応は今後検討する

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



31年度末で稼働が終了する昭島市清掃センター

昭島市の可燃ごみ 受け入れは慎重に
質問 昭島市清掃センターの耐久性、加入要請の経緯など疑問が多い。西多摩衛生組合周辺住民への説明会では「昭島市清掃センターの稼働延長は技術的に可能」との昭島市の答弁もある。検討結果報告書は再検証すべきではないか。
市長 構成市町間協議の中で、昭島市から状況を聞き取り、報告書に記載したことが昭島市の判断結果と受け止めており、羽村市が再検証し、見解を述べる立場にない。
質問 スケールメリットが強調され、財政課題優先の加入要請・受け入れ準備ではないか。
市長 客観的観点で構成市

町間協議を重ねた結果の報告書であり、財政優先ではない。
パラシュート降下訓練・オスプレイ配備に反対
質問 パラシュート落下事故の2日後に訓練を再開したが、市長の見解は。
市長 事故原因・再発防止の具体的説明がないまま訓練が再開されたことは、周辺住民の不安を増大させるものであり、東京都と5市1町の協議会で、米軍と国に対し、詳細な説明を行うよう要請している。
質問 横田基地との友好を中止すべきではないか。
市長 横田基地に起因する問題は、東京都及び基地周辺市町と連携・協議し、対応していく。



《Q》昭島市のごみの説明会では、どんな意見が出されたか
《A》昭島市の加入に反対、理解を得る努力が足りないなど

鈴木 拓也 議員（日本共産党）

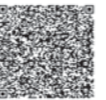


「昭島市の可燃ごみ 受け入れ」は断念すべき
質問 昭島市の可燃ごみ受け入れ方針について、2回の説明会が開催された。参加者からは、どのような意見が出されたか。
市長 「西多摩衛生組合への昭島市の加入に反対」、「理解を得るための努力が足りない」などの意見があった。
質問 受け入れ方針を見直す必要があるのではないか。
市長 説明会でのご意見等は、総合的な判断を行う材料としていく。
米軍の身勝手な行動を 正していこう
質問 羽村第三中学校にパラシュートが落下する事故がおきた。なぜパラシュート降下訓練のような危険な訓練が、人口密集地にある横田基地で行えるのか。
市長 防衛省によると、日米安全保障条約の目的達成のため、米軍には軍隊としての活動を一般的におこなうことを当然の前提として、

わが国の施設・区域を公共の安全に考慮を払ったうえで使用することが認められているとのことである。
質問 市は、危険なパラシュート降下訓練の今後一切の中止を、国・米軍に求めるべきではないか。
市長 東京都ならびに基地周辺市町との連携のもと、適時適切に対応していく。
質問 オスプレイの配備中止を求めて、市は頑張るべきではないか。
市長 6月4日付で、CV-22オスプレイの配備・運用に関する要請を行っている。



西多摩衛生組合



《Q》小学校区の通学路の防犯カメラは何台か
《A》合計12台である

印南 修太 議員（新政会）



羽村市子どもたちが 学び育つ環境について
質問 放課後の安全対策について
質問 平成29年度、小学校区ごとの公然わいせつ事件は何件か。
教育長 警視庁からの情報提供では、羽村東小学区1件、羽村西小学区5件、富士見小学区4件、栄小学区0件、松林小学区4件、小作台小学区2件、武蔵野小学区2件、学区を特定できないもの5件である。
質問 平成29年度、小学校区の通学路に設置している防犯カメラは各何台か。
教育長 羽村東小学区2台、羽村西小学区2台、富士見小学区1台、栄小学区1台、松林小学区2台、小作台小学区3台、武蔵野小学区1台である。
質問 東京2020オリンピック・パラリンピック教育について
質問 環境保全をテーマに、例えば多摩川水源森林隊などのボランティア活動に参加し、羽村の水資源の豊か



《Q》羽村駅西口区画整理は見直し、もっと教育に予算を
《A》教育のさらなる充実に努めていく

浜中 順 議員（日本共産党）



どの子もわかる授業を
質問 市は、わかる授業や丁寧な生活指導を実現しやすい少人数学級（35人以下）実現への検討をすべきではないか。
教育長 市では、国や東京都の教員の配置定数に従って学級編制を行っており、その中で教科の特性を考え、熟度別指導を行っている。
質問 市の将来を考えたとき、人を育てることこそ最優先にしなければならぬと考える。反対も多くお金がかかりすぎる羽村駅西口土地区画整理事業は見直し、人を育てる少人数学級などに、もっと予算を使うべきではないか。
市長 現行基準から5%以内の減額にとどめることなどの減額に対する配慮がされているので、引き下げないよう働きかける考えはありません。



市内の小学校



環境フェスでパラリンピックスポーツのポッチャを体験

さ等を学ぶことはできないか。
教育長 羽村市生涯学習基本計画後期基本計画では、「多摩川や自然休暇村における自然体験の実施」を計画事業としている。子どもたちが野外活動や川遊びといった普段の生活ではできない体験を仲間と共有し、お互いが理解し合い、助け合うことを身に付け、地域や学校での集団生活に活かすことを目的として取り組んでいる。今後も、こうした羽村の環境を活かした学びの機会を創出していく。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に
関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

平成 30 年 5 月 1 日～ 7 月 31 日の主な活動

- 5月**
- 2日 西多摩地区議長会定例会議
 - 8日 平成 30 年度姉妹都市事業連絡協議会総会
 - 9日 全国自治体病院経営都市議会協議会第 46 回定期総会
 - 16日 平成 30 年度羽村土地開発公社決算監査
 - 18日 平成 30 年度羽村土地開発公社評議員会
 - 23日 第 56 回三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会
第 56 回三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会
関東都市監査委員会定期総会
 - 28日 平成 30 年第 4 回議会運営委員会
東京市議会議長会定例総会
平成 30 年第 1 回東京都市町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会
 - 30日 全国市議会議長会第 94 回定期総会
 - 31日 東京都三多摩地区消防運営協議会通常総会

- 6月**
- 6日 市民インタビュー（おはなしいっぱいねずみくん）
厚生委員会
 - 7日 平成 30 年第 2 回羽村市議会（定例会）初日
 - 8日 平成 30 年第 2 回羽村市議会（定例会）2 日目
 - 11日 平成 30 年第 2 回羽村市議会（定例会）3 日目
平成 30 年第 2 回経済委員会
 - 12日 平成 30 年第 2 回羽村市議会（定例会）4 日目
 - 14日 一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
 - 18日 平成 30 年第 2 回厚生委員会
平成 30 年第 2 回総務委員会
 - 19日 平成 30 年第 5 回議会運営委員会
 - 22日 平成 30 年第 2 回羽村市議会（定例会）最終日
 - 25日 平成 30 年度第 1 回官公署等連絡協議会
平成 30 年第 5 回広報委員会



- 7月**
- 4日 全国市議会議長会基地協議会第 91 回理事会
 - 7日 羽村市議会タウンミーティング
 - 11日 平成 30 年第 6 回広報委員会
 - 12日 平成 30 年第 2 回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会臨時会
三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議
 - 12日～13日 全国都市監査委員会総会・研修会
 - 13日 経済委員会調査研究活動
 - 18日 厚生委員会行政視察（東京たま広域資源循環組合等）
 - 20日 平成 30 年度第 1 回西多摩衛生組合議会臨時会
 - 23日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
平成 30 年第 5 回議会改革推進委員会
 - 24日 第 50 回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会・第 37 回多摩都市モノレール等建設促進
協議会合同総会
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第 3 委員会
 - 25日 行政視察受入れ（北海道伊達市議会）
 - 27日 大多摩観光連盟平成 30 年度第 5 回通常総会
 - 31日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第 2 委員会

《Q》防災行政全般の課題は 《A》より一層の防災意識の啓発を図ること

濱中 俊男 議員（リフレッシュ羽村）



6月17日に行われた水防訓練

羽村市の防災行政について
質問 防災行政全般の課題をどう捉えているか。
市長 「より一層の防災意識の啓発を図ること」、「想定をはるかに超えた大規模災害発生の際の情報通信機能の確保や帰宅困難者への対応」、「他の自治体等と連携した水防体制、要配慮者への防災対策」などが課題である。
質問 防災訓練の課題をどう捉えているか。
市長 「羽村市総合防災訓練」は、毎年9月の第一日曜日に、全市民の皆様を対象として、実施している訓練である。より多くの皆様が参加し防災意識の向上と普

及を推進していくことが重要な課題である。
質問 水防訓練の実施内容は。
市長 6月17日、宮の下運動公園等で実施を予定している。訓練の内容は、情報収集及び監視警戒訓練をはじめ、関係機関相互による連携した取組みや、各種水防工法の訓練、救出救助訓練、展示・体験コーナーの実施などを計画している。この訓練により、水防態勢の充実を図っていく。



会派名簿

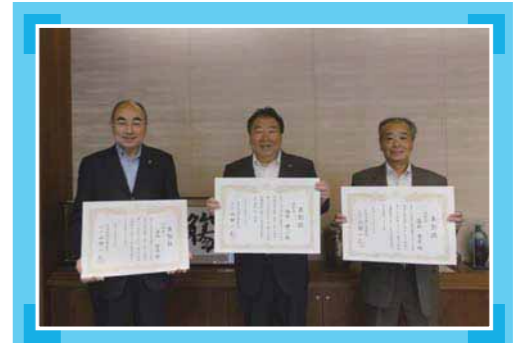
新政会 いんなみ 印南 とみまつ 富松 はしもと 橋本 たきしま 瀧島	公明党 なかじま 中嶋 とみなが 富永 にしがわ 西川美佐保 いしい 石居	国民・立憲の会 おおつが 大塚あかね はせひら 馳平	新しい風 たかだ 高田 こみや 小宮	日本共産党 はまなか 浜中 すすき 鈴木	市民ネットワーク「いきいき広場」 もんま 門間 ひでこ 淑子
羽村 21 みずの 水野 よしひろ 義裕	リフレッシュ羽村 はまなか 濱中 としお 俊男	世論 やまざき 山崎 よういち 陽一			

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

議員表彰

5月30日、全国市議会議長会より、3名の議員が在職15年以上の表彰状を贈呈されました。

また、馳平耕三議員は、全国市議会議長会の評議員を務めたことにより、感謝状を贈呈されました。



濱中俊男議員、馳平耕三議員、瀧島愛夫議員

※水野義裕議員、石居尚郎議員は辞退されています。

しぎかいカレンダー

● 9月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
8/19	20	21	22	23 陳情 ^〆	24	25
26	27 議運	28	29	30	31	9/1
2	3	4 本会議	5	6 本会議	7 本会議	8
9	10 予特 (補正)	11 本会議	12 常任委	13 常任委	14	15
16	17	18 決特	19 決特	20 決特	21	22
23	24	25	26	27	28 本会議	29
30						

- 陳情^〆… 請願・陳情の9月定例会審議予定分の締切
 - 議運… 議会運営委員会
 - 常任委… 常任委員会（総務、経済、厚生）
 - 予特（補正）… 一般会計等予算審査特別委員会
 - 決特… 平成29年度決算審査特別委員会
- * 会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

議会を見よう！ 知ろう！

～ 次の定例会は9月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 **議場で傍聴** **ーライブで！**
当日、直接議場へおいでください。
- 2 **ケーブルテレビで生中継**
TCN多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 **インターネットで録画中継**
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 **会議録で読む**
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会



編集後記

来年の5月からは新たな元号に変わる。どんな元号になるのか楽しみな反面、30年続いた平成という元号がなくなるのは寂しくも感じる。そろそろさまざまなあいさつの中で、「平成最後の・・・」のような言葉が聞かれるのではないだろうか。

市議会では先月、市民との意見交換の場となるタウンミーティングを開催した。詳細は次号に掲載するが、初めての試みで改善するところも多々ある。それらを活かしてさらに充実した対話の場となるよう努力していきたい。来年も開催したい。「新元号最初の・・・」と言えるように。

(中嶋)

【広報委員会委員】

小宮 國暉 (委員長)
山崎 陽一 (副委員長)
浜中 順 印南 修太
富松 崇 中嶋 勝
大塚あかね 西川美佐保

発行／羽村市議会 編集／広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889
Tel 042(555)1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。